

# 相生市議会だより

第 100 号

平成 23 年 3 月 10 日

発行：相生市議会 <相生市旭一丁目 1 番 3 号 ☎ 23—7122> 編集：議会報編集委員会

100号記念



菜の花（若狭野町）

## 十二月議会から

十二月定例市議会は、十一月三十日から十二月十五日までの十六日間にわたって開催されました。

今期定例会では、報告二件、補正予算六件、条例の改正等四件、人事案件一件を審議し、すべての案件は、可決、同意等されました。

なお、議員提案一件は、反対多数により否決されました。その主なものは七ページにまとめました。

また、九月定例会で決算審査特別委員会に付託されておりました平成二十一年度各会計決算は、すべて認定され、総合計画特別委員会に付託されておりました第五次相生市総合計画は可決されました。

一般質問は、七名の議員が行い、市当局の現状、方針等考え方をたずねました。その概要については、二〜五ページにまとめました。

十二月議会  
一般質問

健康増進について  
防災について

まきのぶ 正  
うしろだ 後 田

**問** 定期予防接種および任意予防接種の進捗についてどのような対策を行っているのか。

**答** 定期予防接種は、対象者、その保護者に対し、予防接種の種類や受けるにあたっての注意事項を分かりやすくお知らせするなど、確実な周知に努めています。また、予防接種台帳の活用により、未接種の方に対し再度、接種勧奨を行い、接種率の向上に努めています。

**問** 接種率を向上する方法等何か考えはないのか。

なお、インフルエンザや高齢者の肺炎球菌(※)などの任意接種につきましても、接種費用の助成を行い、接種率の向上に努めています。

**答** 予防接種に対する重要度の認識をしていただくため、「予防接種と子どもの健康」という冊子を配布しております。しかし、こういった紙ベースのものは、読んでいただけなければ効果がありません。このため、保護者の方に対し子どもを守るための情報を収集するという意識を高めることに努めたいと考えています。

**問** 公共施設内の備品や設備の耐震補強はどのようになっているのか。

**答** 策定予定の公共施設耐震改修促進計画に基づく耐震改修にあわせて備品の固定や転倒防止対策などを実施していきたいと考えています。

**問** ドクターヘリ(※)について、市内で重大事故が発生し要請した場合、現場までの到着時間、どのくらいで医療機関まで搬送できるのか。

**答** 今月発足した関西広域連合(※)において、公立豊岡病院、大阪医大病院および和歌山県立医大病院を基幹病院としている三機のドクターヘリを一体的に運航する



ドクターヘリ

計画です。相生市が要請する場合、いずれのドクターヘリからも百キロメートル、現場到着まで十分の位置にあり、どのドクターヘリを選択するかは、救急患者の数、容態等により判断することとなります。

兵庫県は、「第二次新行革プラン」(素案)について住宅リフォーム助成について

**問** 新行革プラン(素案)の中で、乳幼児等医療費助成や重度障害者医療費

助成などの所得判定単位を見直し、対象者を削減しようとしている。少子化対策にも逆行するこのプランへの対応はどうか。

**答** 素案の中には、市民生活に直接かわかる見直しが含まれており、また、これ以外にも弱者保護の観点から再検討していただきたい事業も見受けられます。

**問** 住宅の増改築やリフォームの際の経費

相生市としては、現行どおり制度の継続実施を要望しており、市としては、今後、経過を見守りながら、慎重に対応を検討していきたい。

の一部を補助する住宅リフォーム助成は、全国百七十を超える自治体で取り組まれ、例えば岩手県宮古市の「住宅リフォーム促進事業」は、市内業者に施工を依頼することを条件に、幅広い工事を補助。二億三千万円の補助で工事費が十億四千五百万円、経済効果は、十六億二千万円とされている。

**答** 相生市でもぜひ実施していただきたいと思うがどうか。

**問** 住宅リフォーム助成制度は、市内産業全体の活性化、雇用の創出等地域経済の活性化につながり、あわせて住宅環境整備の向上も図れるものと考えています。

全国的に公共事業が縮小されるなか、中小・零細建設業者に労働の場を提供できること

※ドクターヘリ：救急専用の医療機器を搭載し、医師・看護師が乗り込んで患者のもとに急行し、病院などに搬送する間に救急医療を施すことのできる救急ヘリコプター  
※関西広域連合：救急医療連携や防災等の府県域を越えた行政課題に取り組むために、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県により地方自治法の規定に基づいて設立されたもの  
※肺炎球菌：肺炎などの呼吸器の感染症や全身性感染症を引き起こす細菌

から、先進都市の実施状況、経済効果等の調査を行い、検討していきたい。

教職員の資質向上について  
相生市の農業の今後について

おおかわ 大川  
たかゆき 孝之

**問** 今年度実施された全国学力・学習状況調査の結果から現状分析と今後の課題をどう考えているのか。

**答** 概ね全国平均並みか、やや上回っており、良好であると判断しています。課題については、資料や情報に基づいて意見や感想を記述すること、問題解決の方法を説明することなどがあげられています。このため自分の考えをまとめて発表させる等の取り組みをしています。

**問** 教職員の意欲を向上させる方策についてどう考えているのか。

**答** 教師という職業の魅力は、自分自身が一生学び続けながら人材を育てることができることであり、教師が重要な



食と農を守るかあちゃんず

仕事であるという社会の認識と教師自身の自覚により意欲が生まれてきます。今後、校長のリーダーシップのもと教職員一人一人の能力、適性を評価し、それらを生かした学校運営に努め、教職員がやりがいと喜びを感じられるようにしていきたい。

**問** 夢ある農村づくり推進事業の今までの成果と今後の取り組みをどのように考えているのか。

**答** 食と農を守るかあちゃんずと真心ファ

ーマーズが連携を強化し、暮らしの生活展で地産地消の取り組みを行い、また、若狭野町入野、福井で集落営農組織を立ち上げるなど成果は上がっていると考えています。今後は、これらの組織を一本化し利益の上がる農業を展開できるよう取り組んでいきたい。

**問** 市自らが株式会社を設立し、農業や雇用の創出を行ってはどうか。

**答** 全国の成功事例では市自らが受け皿となった事例はなく、生産

者や農業者団体が受け皿となつていきます。今後は、相生市の農業の受け皿の発掘に取り組んでいきたいと考えています。

文化財について

みやき 宮  
まき 木

**問** 若狭野の浅野陣屋跡について、屋根の痛みや柱の傾斜はひどく、早急な処置をしないと倒

壊の危険がある。浅野陣屋跡の歴史的価値の診断と評価はどうなっているのか。

**答** 浅野陣屋跡の評価は、過去の調査で、外観の一部が原状回復改修されていない事と、内部の著しい改修が理由で、指定できないとの見解が出た経緯があります。教育委員会としては、その歴史的由来が明確なことだから、皆さんに知っていただく価値はあると判断しています。



浅野陣屋跡

**問** 文化財指定ができない理由としての外観・内部の補修を原状回復すれば文化財の指定はできるのか。

**答** 忠実に原状回復ができる、他の障害となっていない点を考慮しなければ、文化財保護審議会に諮問することは可能です。



**問** 今年度は地域コミュニティ推進員が地域の方と小学校区ごとに課題抽出に取り組み、それを受けて活動展開される予定のことでした。

**答** 各地域での課題抽出の結果、それを受けての取り組み状況は、地域によって課題の違いはあるものの、地域コミュニティの希薄化は各地域共通の課題として認識しています。その取り組みとして、相生地区三連合自治会の連携を深めるきっかけとして、「オー...」(相生) みなとフ

「エスティバル」の陸上部門を三連合自治会合同で開催しました。

**問** 小学校区ごとの取り組みでは範囲が広すぎるとは思いませんか。

**答** 中央小学校区のよつに、小学校区でも旭地区と陸地区に分けて設置している所もあり、それぞれの地域の実情、課題に応じて最適な区域での地域活性化を図っていきます。

**問** 住民が参加するワークショップ(※)などの方が、今後の取り組み方法が、今後の取り組み方法

**答** 様々な地域課題の克服のためには、住民一人一人が、自分のできることから始めるという意識啓蒙のため、専門家による地域に合わせた講演や、ワークショップの開催を、検討していきます。



**問** 広島県三次市は、「子育て日本一」をキヤッチフレーズにして、総合的な若者定住施策を行っている。特に、出産に対しては、オープンシステム(※)により、開業医が健診し、入院・分娩は中央病院が行う分担制により新生児が増加し、また、助産師の登録制度、不妊治療費助成制度、子育て支援優良企業の表彰制度など、多岐に取り組んでいる。相生市における今後の方向性は。

**答** 市の課題は、十五歳以下の年少人口構成比が少ないことであり、第五次総合計画では、子育てや教育分野を重視しています。

また、第二次行財政健全化計画において、地域活力向上の柱を設定し、人口減少対策、子育て・少子化対策、産業の活性化対策の三点について、積極的な事業展開を考えています。

**問** 市の公営住宅入居者の年代別割合はどのようになっているのか。

**答** 市営住宅については、六十代以上の方が多く入居され、駅南地



那波丘の台地区コミュニティ住宅

区再開発住宅および那波丘の台地区コミュニティ住宅は、若い世代の入居者が多い状況です。

**問** 各地域で若者定住策として住宅供給の取り組みがあるが、市としては、再開発住宅やコミュニティ住宅が、若者定住策を担うものと思うが将来的な利用はどうか。

**答** 当住宅については、事業用として建設されたものですが、一部一

般入居も募集しています。今後、事業が完了すれば、一般利用について考えていきます。



**問** 少子化対策として、单身男女の出会いの場を積極的に創設するなどの結婚対策に取り組ん

※ワークショップ：さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場  
 ※オープンシステム：病院と診療所の連携により、入院や特殊な処置などを要するものは病院の施設を利用して行い、お互いに情報を交換しあってより良い医療を求めるシステム



大谷川

ではないか。

**答** 兵庫県では社会全体で結婚を応援するため、平成十一年に「このとりの会」、平成十八年に「ひょうご出会いサポーター」・本年十二月に「西播磨出会いサポーターセンター」を設置し取り組んでいます。市としては、この県の事業を広く市民にPRし、有効に活用していきたいと考えています。

**問** 大谷川の景観について、遊水池上部の整備内容は住民の意向を取り入れた計画になつて

いるのか。

**答** 先月の地元説明会において県から来年度予定している工事の概要および工程についての説明があり、河床部分については景観に配慮し、石張りとする。また遊水池の整備内容については、整備後の管理についても地元の協力をお願いすることとなるため、工事の進捗状況を見ながら地元住民の方々と協議をし決定する旨の説明があり、周辺の街並みに配慮した整備がされると考えています。

## 常任委員会行政視察報告

### 総務文教常任委員会

#### 【視察日】

平成二十二年十月十九日（火）

～十月二十一日（木）

#### 【視察先・調査項目】

○千葉県浦安市

・市立図書館の運営について

○東京都多摩市

・自治基本条例について

委員長 後田 正信

副委員長 豆鞘 宏重

委員

宮舛 真木・阪口 正哉

三浦 隆利・盛 耕三

奥本巳千雄・大川 孝之



千葉県浦安市にて

千葉県浦安市は、全市民が徒歩圏内で図書館施設に行けるよう分館網を整備し、貸出冊数も国内トップクラスであり、その運営内容について調査しました。

平成二十一年度の全八館での蔵書数は、百十四万冊、貸出冊数は二百一十二万冊、市民一人あたり貸出冊数は十三・七冊、インターネットを利用した貸出予約が年間五十万件あり、また、学校図書館とも日常的に連携していることなど、本市の取り組みと比較し意見交換を行いました。

東京都多摩市では、自分たちのまちの自治について最も基本的な理念および行

動原則を定めた市の最高規範となる自治基本条例について調査しました。一年半をかけての市民による条例の素案づくり、その条例素案を尊重しての市の検討、議会での審議を経て平成十六年に制定されました。市民、行政、議会がそれぞれの役割と責任により議論を積み重ねた過程のいろいろな内容、また、条例施行後のコミュニティセンターの管理運営や市民情報活動センターの運営など市民との協働施策について、本市の状況と比較し意見交換を行いました。

# 常任委員会行政視察報告

## 民生建設常任委員会

### 【視察日】

平成二十二年九月二十八日(火)

～九月三十日(木)

### 【視察先・調査項目】

○秋田県横手市

・市立大森病院の運営について

○青森県十和田市

・少子化対策について

委員長 渡邊 慎治

副委員長 吉田 政男

委員

土井 本子・前川 郁典

岩崎 修・角石 茂美

楠田 道雄・柴田 和夫



秋田県横手市にて

秋田県横手市には、地域包括ケアを担う市立大森病院、急性期を担う市立横手病院、三次医療を担うJA秋田厚生連病院があり、市立大森病院について調査しました。横手市の高齢化率は三十%を超え、旧大森町時代より高齢者施策に力を入れており、保健医療福祉総合施設「健康の丘おおもり」に市立大森病院をはじめ特別養護老人ホーム、居宅介護支援センターなどの高齢者施設を順次整備している。また、合併時に地方公営企業法の全部適用に変更するなど、本市の病院施策と比較し、意見交換を行いました。

青森県十和田市は、平成十七年の合併により人口六万人を超えたが、毎年人口が徐々に減少している。また、平成二十年の市立病院改築に伴う財政負担により他事業を中止、延期する事態となっている。このため、少子化対策や財政基盤の立て直しに取り組んでおり、その施策展開を調査しました。すべての子どもと子育て家庭を支援し、地域全体で子どもを育むため、次世代育成支援行動計画に基づいた地域子育て支援拠点事業など、本市の取り組みと比較し意見交換を行いました。

## 委員会の審査から

### 民生建設

#### 常任委員会

「少子化対策について」は、平成二十二年度の次世代育成支援施策等の各市町の取り組み状況および地域子育て支援拠点事業について説明を受けました。

「相生市民病院の運営について」は、平成二十二年度中間決算状況について説明を受けました。

委員より、改革プランでは、平成二十三年度までに収支均衡を目指す、経営形態の見直しの判断時期は平成二十二年度末とする。としているが変わっていないか、との質疑があり、平成二十三年度までは改革プラン通りに進めていきたいとの説明がありました。

また、委員より、中間決算では昨年度と同程度との説明であるが、全く改善が進んでいないと理解してよいのか、との質疑があり、現在のところ数値目標だけはクリアできそうな状況であるが医師確保が一番の問題であ

る。との説明がありました。

また、委員より、医師確保の見直しは始まっているのか、との質疑があり、今から医局人事が始まっていくが、現在のところ常勤医師の確保には至っていない。との説明がありました。

### 総務文教

#### 常任委員会

「自治基本条例について」は、県下各市の策定状況および県下策定市の条例構成比較について、説明資料により報告を受けました。

「図書館の充実について」は、市立図書館については、開館日の改善等により利用は増加している旨の説明、また、学校図書館については、各小学校の司書教諭、専任従事者の活動状況等について説明を受けました。

委員より、学校図書館において読まれていない古い図書が多く見受けられたが、廃棄して図書の更新を図るべきではないかとの質疑があり、学校図書館では新しい図書の購入にあわせて廃棄して



学校図書室視察

【報告】

◇和解及び損害賠償額の決定について処分の件 二件

・公用車の事故および中学校で発生した自動車損傷事故に伴う示談契約の報告を受けました。

【条例】

◇相生市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

いるが、現在のところ古い図書も冊数に入っている。との説明がありました。

また、委員より、蔵書率にこだわることなく必要のない図書は廃棄すべきではないか、との質疑があり、各小学校におけるコンピュータでの図書の登録作業終了後に廃棄基準に基づき、不用な図書は廃棄し新しい図書の購入に努めるとともに、市立図書館との連携を図り子どもたちが読みたい図書が手元に届くように体制の整備を図りたい。との説明がありました。

この二件の条例改正は、関係法令の改正により、職員給与の引下げ、職員および議員報酬の期末手当等の支給月数を引下げるものです。

◇相生市立知的障害者援護施設設置条例の一部を改正する条例

この条例改正は、障害者自立支援法に基づき野の草園が平成二十三年四月から多機能型施設に移行することに伴うものです。

◇相生市立教育集会所設置条例の一部を改正する条例

この条例改正は、地方自治法に基づき、指定管

理者に当該施設の管理を行わせるために改正するものです。

【予算】

◇平成二十二年度相生市一般会計補正予算 二件

◇平成二十二年度相生市公共下水道事業特別会計補正予算

◇平成二十二年度相生市看護専門学校特別会計補正予算

◇平成二十二年度相生市農業集落排水事業特別会計補正予算

◇平成二十二年度相生市病院事業会計補正予算

補正の主なものは、職員給与の引下げ、職員および議員報酬の期末手当等の引下げ、中学校の水道漏水改修工事および、国の緊急総合経済対策、県のワクチン接種緊急事業等により補正するものです。

【人事】

◇人権擁護委員の委員として次の方の推せんに同意しました。

相生市那波本町

四番十七号

矢野 誓雄 さん

議員提案

◇相生市議会議員定数条例の一部を改正する条例

・議員定数を二名減員し、定数十四名に改正するものです。

提案理由

市は、厳しい財政状況のなか、行財政健全化に取り組んできた。

今後、人口減少が続くと考えられ、議会として、市民生活に直結する財源を確保するため、議員自ら率先して実行することが必要である。また、多くの市民より議員定数削減を求める声もある。このため、議会として民意の反映に支障をきたさない範囲内で、適正な定数を考え、兵庫県下人口五万人未満の市の議員定数等と比較、分析した結果、現在の本市の人口規模では定数十四が適正であると判断した。

することである。そのことと、議員定数の問題と同じように考えることは短絡的である。

また、定数削減が民意であれば、それは、市民の根幹をなすものであるため、十分に時間をかけ、協議すべきものである。しかし、今回の条例改正は、唐突であり将来を見据えた十分な議論を行う時間は少なく、すぐに判断できるものではないため、反対である。

賛成討論

相生市の行財政健全化を進めるうえで、市民に多くの負担をお願いしている。議会としてもそのリスクを背負うことは当然である。また、議員が個々の資質を高めることにより、少数の議会でも問題がないと考え、改正に賛成する。

表決

表決は、記名投票により行われ、賛成 五票、反対 十票（議長は表決に加わりません。）により条例は否決されました。

反対討論

市議会や議員に対して市民の厳しい意見があることは認識しているが、それは、質を問う声であり、今、必要なことは、議会の質を高め、活性化

十二月議会で決まったこと

議長交際費の執行状況

について

相生市議会では、開かれた市議会をめざして、議長交際費の執行状況を公開いたします。

平成22年度支出内訳  
(4月1日～12月31日)

区	分	件数	金額(円)
慶	弔費	3	30,500
渉	外賄関係	2	17,000
そ	の他	2	6,000
合	計	7	53,500

※詳しくは、市議会ホームページ(※)でご覧いただけます。

議会活動状況

- 〈十二月〉
  - 十日 議会報第九十九号発行  
総務文教常任委員会  
定例市議会閉会
  - 十五日 議員全員協議会  
議会報編集委員会
- 〈一月〉
  - 十九日 篠山市議会来相  
播但市議会議長会  
(たつの市)
- 〈二月〉
  - 四日 議員人権研修  
京都府長岡京市議会来相  
民生建設常任委員会  
兵庫県市議会議長会  
(神戸市)
  - 八日 総務文教常任委員会  
議会運営委員会
  - 二十五日 本会議再開
- 〈三月〉
  - 二日 本会議再開

議会だより100号発行記念特集

～創刊号から現在までの主なできごとと議会だより～



平成9年  
第36号  
(白龍城オープン)



平成7年  
第26号  
(航海訓練所練習船「青雲丸」)



平成5年  
第17号  
(温水プール「コスモス」オープン)



平成4年  
第13号  
(市制施行50周年記念)  
藤田市長誕生



平成2年  
創刊号  
(ペーロン祭)



平成20年  
第89号  
(まちなみガーデンAIOI)



平成19年  
第84号  
(水産物市場オープン)



平成16年  
第72号  
(ふるさと交流館オープン)



平成14年  
第62号  
(市制施行60周年記念)



平成12年  
第55号  
(羅漢の雪景色)  
谷口市長誕生



編集後記  
平成二年創刊から二十年、相生市議会だよりも第一〇〇号となりました。これまでの一つ一つの議会だよりにぎざまれた議会の歩みは、相生市の歩みでもあり、歴史でもあります。これからも市民の皆さんのご意見を聞きつつ、市議会がより身近に感じていただけるよう紙面の充実に努めていきたいと思っております。

議長挨拶  
「相生市議会だより」が平成二年の創刊から記念すべき第百号を迎えました。この間、議会の情報発信の中心的な役割を果たし、議会の活動や経過などをお知らせしてまいりました。今後も市民の皆様が親しまれる議会だよりの発行に努めてまいります。